

# PACK

## ポータブル蓄電池 -Battery CUBE- TK-500 TK-1000

### 取扱説明書

保証書付き



#### もくじ

安全上のご注意 .....	2~4 ページ
各部の名称 .....	4 ページ
仕様 .....	5 ページ
付属品 .....	6 ページ

#### 使用方法

1. 運搬のしかた .....	7 ページ
2. 設置のしかた .....	7 ページ
3. 周波数を設定する .....	8 ページ
4. 電池残量確認 .....	8 ページ
5. AC 充電器で充電する .....	8~9 ページ
6. アクセサリーソケット充電器で 充電する .....	9~10 ページ
7. 充電時に電源を取り出す .....	10 ページ
8. 交流(AC)電源の取り出ししかた ..	10~12 ページ
9. 直流(DC)電源の取り出ししかた ..	12~16 ページ
10. USB、ワイヤレス充電の電源 の取り出ししかた .....	16~18 ページ
11. 交流(AC)、直流(DC)、USB電 源を同時に取り出す .....	18 ページ

接続する電気機器の使用時間の目安.19 ページ

廃棄のしかた ..... 19 ページ |

故障かなと思ったら ..... 20~22 ページ |

保証書 ..... 24 ページ |

このたびは、PACK「ポータブル蓄電池」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用の前に必ず取扱説明書をお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

# 安全上のご注意 **必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

 **警告** 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。

 **注意** 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を次の区分で説明しています。

 **してはいけない「禁止」** 内容です。

 **実行しなければならない「指示」** 内容です。

## **警告**



分解禁止

**分解、修理や改造を絶対に行わない。**  
発火・感電・ケガの原因になります。修理は、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。



禁止

**製品や充電器、付属のケーブルに強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。また、変形破損した場合は使用しないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



禁止

**雨や水、海水などの液体で濡らさないでください。また、液体のかかる場所で使用、充電、保管しないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



禁止

**灯油、ガソリン、シンナーなど引火性のあるもの、火の気のあるもの、可燃性のあるもののそばでは使わない。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



禁止

**電力会社からの電気配線や屋内配線には絶対に接続しないでください。**

感電、火災の原因になります。



禁止

**本製品(および充電器)の使用時には電磁波が発生します。埋め込み型心臓ペースメーカー等使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。**



禁止

**本製品を接続した状態で車を走行させないでください。(本体から各電気機器の出力での接続、車から本体への充電)**

事故、感電、火災、本製品や自動車の故障の原因になります。



**0°C~40°Cの範囲内で使用、充電、保管してください。直射日光の当たる場所や夏季の車両内は避けてください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



禁止

**本体、充電器に重い物を乗せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、液もれの原因になります。



禁止

**子供や乳幼児、ペットの届かないところで使用・保管してください。**

事故、感電、ケガの原因になります。



禁止

**濡れた手で本体や充電器を取り扱わないでください。**

感電の原因になります。



禁止

**湿気、ほこり、油煙、腐食性ガスなどが多い場所で使用、充電、保管しないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



禁止

**医療機器や電源停止により人が死亡、または重症を負うと想定される機器、公共性の高い機器、産業用機器などには使用しないでください。**

事故の原因になります。



禁止

**本体は水平で安定した場所に置いて使用、充電、保管してください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**火の中へ入れたり、加熱をしないでください。また、火のそばや炎天下、ストーブの近く、高温になった車内など、高温の場所で使用しないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**車内のアクセサリソケットから充電を行う際は、必ず車を停止させ、落下、転倒しないことを確認したうえで、フロアに設置してください。**

落下して、本体の発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。

# 警告



**充電の際は、必ず付属の充電器をご使用ください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**充電器から触れないほどの発熱、発煙、異臭、異音、変形などの異常を感じたら、直ちに電源プラグを抜き使用を中止してください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガ、やけどの原因になります。



**ご使用の際は充電器の電源プラグとコンセントの間、各ケーブルの端子、接続している電気機器の端子やコネクタの間にほこりがたまっていないことを確認してください。**

火災、感電の原因になります。



**付属品のコード類を束ねたまま使用しないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**指定された電圧以外で充電しないでください。日本国内のみで充電してください。AC充電器は家庭用電源で充電してください。定格は交流100V~240Vです。アクセサリースOCKET充電器は、12V車のソケットに差し込んでください。**

定格が異なると、発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**充電器は充電中に熱く感じるがありますが異常ではありません。直射日光の当たる場所や高温になる場所は避けてご使用ください。また、充電器が熱く感じた場合は、長時間触れないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガ、やけどの原因になります。



**所定の充電時間を超えて、しばらく経過（※常温で24時間を目安）しても100%充電にならない場合は、充電を中止してください。電池の寿命です。**

※常温5°C~35°C

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**充電用入力端子、出力交流コンセント、アクセサリースOCKET、USB端子をショートさせたり、指、異物を入れたり、差し込んだりしないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**使用中、充電中に本体から異臭、異音、発熱、発煙、変形などの異常を感じたら、直ちに電源プラグを抜き、本体の電源をOFFにして使用を中止してください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**本体から電池の液もれが発生した場合は、直ちに火気より遠ざけて使用を中止してください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**本体から充電した電気機器は充電終了後、すみやかに本製品から取り外してください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**充電器本体やコード、プラグを破損するようなことはしないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガ、やけどの原因になります。



**付属のコード類は、被覆がはがれた状態で使用しないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**電源プラグ、12VDCプラグ、USBコネクタは、コンセント側、接続する電気機器側ともに確実に差し込んでください。**

火災、感電の原因になります。



**使用後は、必ず本体の電源をOFFにして、電源プラグを抜き、本体からケーブルを抜いて保管してください。**

感電、ケガの原因になります。



**本体の充電完了後は、すみやかに充電器を外してください。満充電の状態での充電しないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**本体内部に異物を入れたり、差し込んだりしないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**保管中に本体から異臭、異音、発熱、発煙、変形などの異常を感じたら、使用しないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**液もれした液体に直接触れないでください。皮膚に付着または目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の診察を受けてください。**

失明や皮膚に障害を起こす原因になります。



**本体の交流コンセント(2口)、USB(6口)、アクセサリースOCKET(1口)、無接点充電(1口)は出力用ですので、絶対に電源を入力しないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**本製品を取扱説明書記載の使用法以外の使用をしないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



**付属品の充電器、コード類は本製品以外に使用しないでください。**

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。

## ⚠ 注意



お手入れの際は、電源をOFFにしてください。  
ケガや感電の原因になります。



シンナー、ベンジンを使用して製品を拭かないでください。柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、よく絞った濡れた布に家庭用中性洗剤を含ませて拭いてください。  
本体破損の原因になります。



電池容量が5%以下のまま放置しないで充電してください。  
本体内蔵の電池が著しく劣化する原因になります。感電、火災の原因になります。



長期間使用しない場合は、お買い上げ時のケースに入れるか、ポリ袋に包むなどして、直射日光を避け、高温多湿でない風通しのよい場所に保管してください。



長期間使用しない場合は、3ヶ月ごとに充電してください。  
本体内蔵の電池が著しく劣化する原因になります。



自動車などで本体を輸送するときは、本製品が動かないように固定して輸送してください。  
事故、故障、ケガの原因になります。



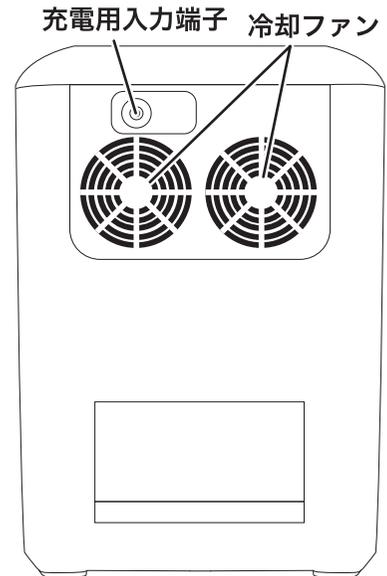
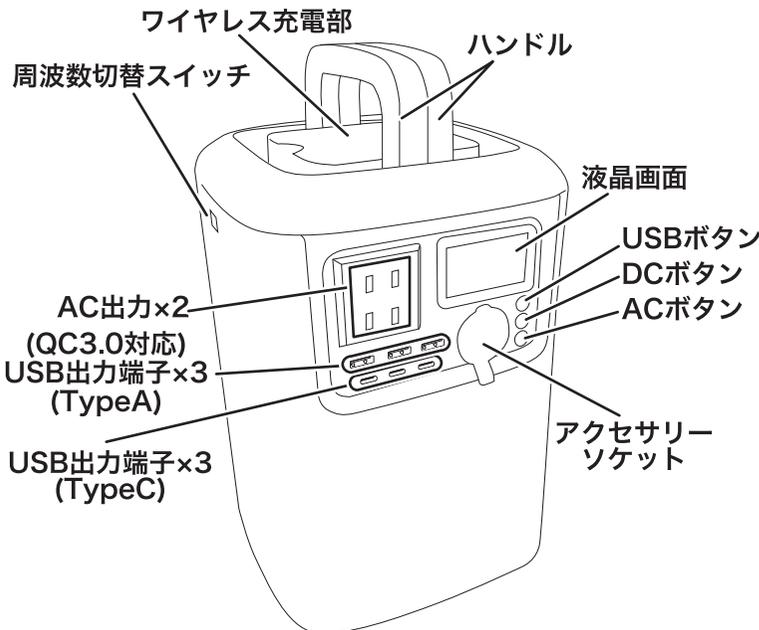
充電式リチウムイオン電池を内蔵している本体は、飛行機、船舶に持ち込みができず、輸送することもできません。詳しくは、各航空、船舶会社にお問い合わせください。  
法律で禁止されています。



本体後部の冷却ファン排出口、冷却風取入口(本体底部)を塞がないでください。壁などから5cm以上空間を空けて使用してください。  
発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。

- ※1 本体内蔵バッテリーは、使用方法や保管の状態によっては、著しく劣化する場合があります。本体内蔵バッテリーの劣化による不具合は保証の対象外となります。
- ※2 本製品に接続した当社付属品以外の使用機器、電気機器の故障や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ※3 本製品に接続した電気機器に登録されたメモリの消失、ICカードのデータやチャージマネーの保全、サービスの回復に関し、当社は一切の責任を負いかねます。

## 各部の名称



※図はTK-1000です。

# 仕様

型番	TK-500	TK-1000	
内蔵バッテリータイプ	充電式リチウムイオン電池		
電池容量	360Wh/3.6V/100000mAh	720Wh/3.6V/200000mAh	
充放電サイクル回数	1500回		
AC充電器(入力)	AC100~240V 2A 50/60Hz		
AC充電器(出力)	DC16.8V-5A		
アクセサリースOCKET充電器(入力)	DC12~16V-6A		
アクセサリースOCKET充電器(出力)	DC16.8V-5A		
充電時間	約5時間	約10時間	
動作温度(充電/出力)	0~40℃		
保管温度	0~40℃		
交流(AC)	定格電圧	100V	
	定格周波数	50/60Hz	
	定格電流	3A	5A
	定格出力	300VA	500VA
	瞬間最大出力	500VA	1000VA
	出力数	2	
直流(DC)	アクセサリースOCKET出力(出力数1)	12V-12A	
USB(DC)	Type-A(QC3.0対応)	5V-3.4A / 9V-2.5A / 12V-2A (最大24W)	
	出力数	3	
	Type-C	5V-3.4A/9V-3A/12V-3A/15V-3A/20V-2.3A (最大45W)	
	出力数	3	
ワイヤレス充電(出力数1)	5W/7.5W/10W		
本体寸法	約W172xD172xH195(mm)	約W172xD172xH265(mm)	
質量	約4.9kg	約7.4kg	

※製品は改良等のため、予告無く仕様を変更することがあります。

※充放電サイクル回数は、気温や湿度等動作環境、バッテリーの連続運転時間によって異なります。

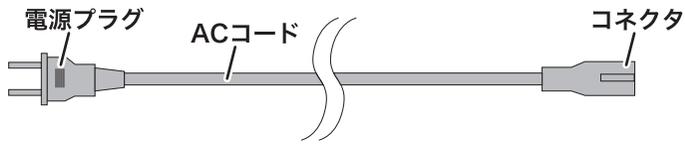
※上記の仕様はAC、DC、USB、ワイヤレス充電、各単独での出力です。

AC、DC、USB、無接点充電の合計で可能な出力

型番	定格出力	瞬間最大出力
TK-500	300VA	500VA
TK-1000	500VA	1000VA

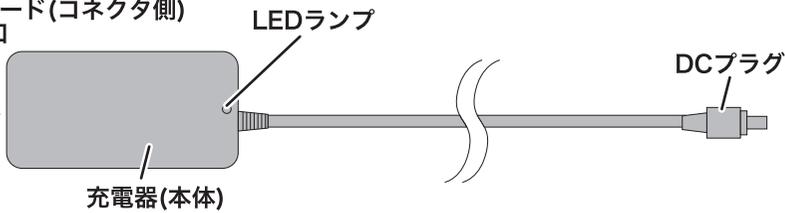
# 付属品

## ■電源コード

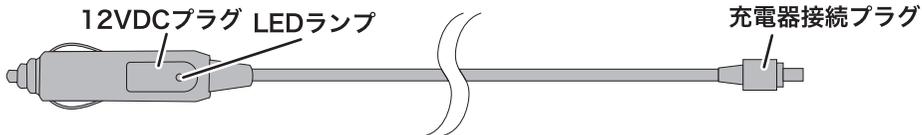


## ■AC充電器

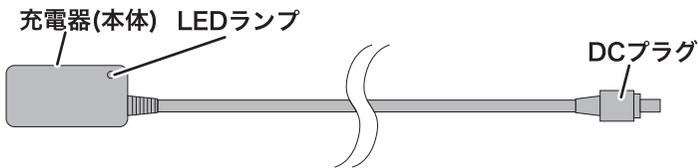
ACコード(コネクタ側)  
差込口



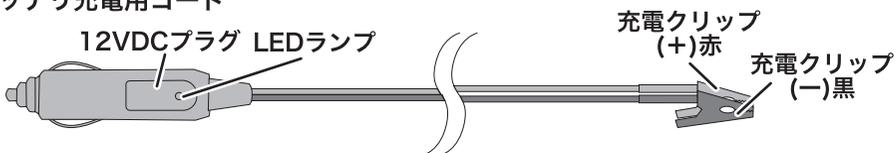
## ■アクセサリソケット充電器DCコード



## ■アクセサリソケット充電器



## ■直流バッテリー充電用コード



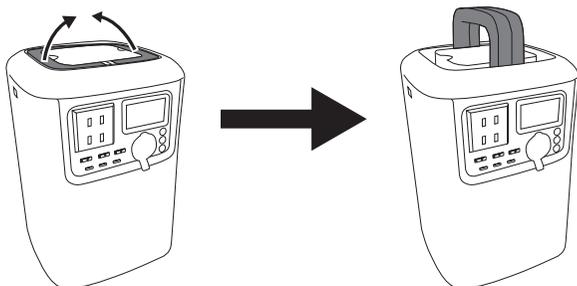
## ■取扱説明書(保証書)



# 使用方法

## 1. 運搬のしかた

1) 本体上面の凹みから、指でハンドルを立ててください。



※図はTK-1000です。

2) ハンドルをしっかり握って運んでください。

## 2. 設置のしかた

### 警告



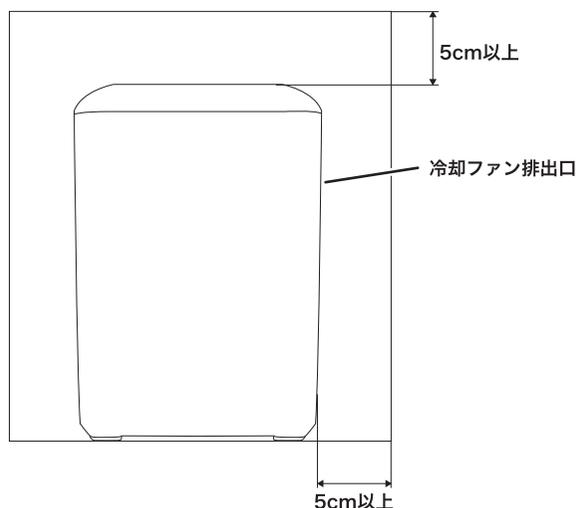
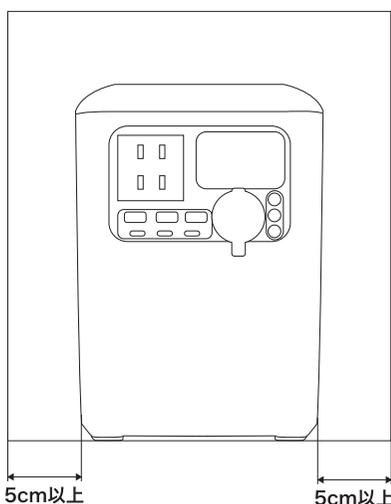
本体を設置する際は、水平で安定した場所に設置してください。

落下して、本体の発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



車内のアクセサリソケットから充電を行う際は、必ず車を停止させ、落下、転倒しないことを確認したうえで、フロアに設置してください。

落下して、本体の発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



※図はTK-1000です。

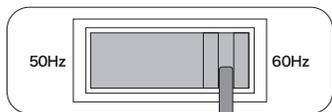
- ・ 本体は、使用中に内部温度が上昇した場合、冷却ファンを動作させ送風することで内部を冷却します。そのため、上図のように5cm以上開けて、密閉された場所ではなく、風通しのよい場所に設置してください。特に、冷却風取入口(本体底面)と冷却ファン排出口を塞がないように注意してください。

### 注意

- ・ 本体の内部が冷却できないと「E-4」加熱エラーが液晶画面に表示され、電気の取り出しや充電ができなくなります。その場合は接続している電気機器を取り外し、本体の電源をOFFにして、風通しのよい場所に移し、本体の温度を下げてから再起動してください。

### 3.周波数を設定する

- ・周波数の切替えスイッチを接続する電気機器の周波数に合わせる。
- ・周波数の切替は、必ず本体の電源がOFFになっていることを確認し、行ってください。(電源がONになっている状態で切替えると本体が故障する恐れがあります)
- ・周波数の切替えスイッチは、誤操作防止のため奥まった場所に設置されています。細い棒状のものを使って操作してください。



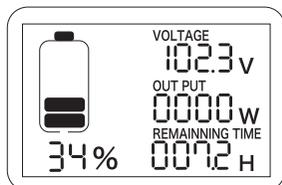
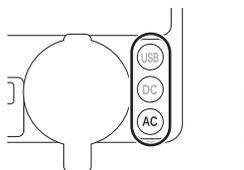
周波数切替スイッチ



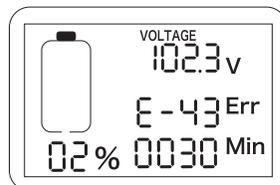
電源OFFの状態(液晶画面)

### 4.電池残量確認

「AC」ボタンを押します。(※DC、USBボタンでも可能です)  
電源が入ると液晶画面が表示され「AC」ボタンランプが点灯します。



液晶画面に電池残量が表示されます。電池残量が少なくなるときは充電してください。

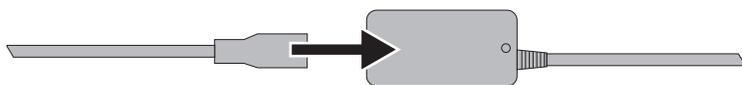


E-43は故障ではありません。電池容量が5%以下になると表示されます。充電してください。

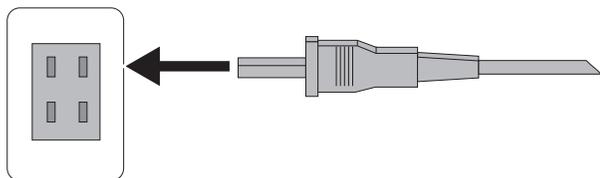
※図はTK-1000の液晶画面です。

### 5.AC充電器で充電する

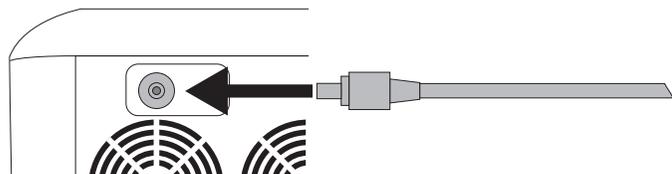
1)ACコードをAC充電器に接続する。



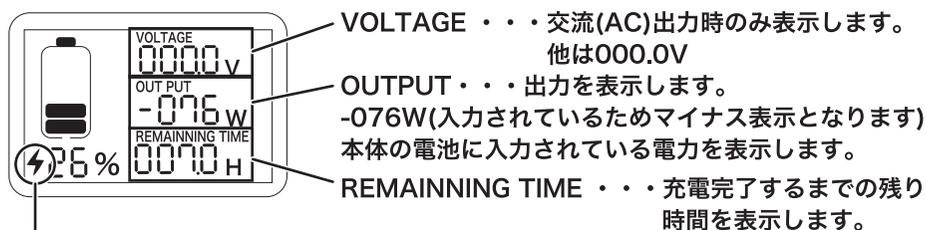
2)電源プラグをコンセントに差し込む。



3)DCプラグを本体の充電用入力端子に差し込む。



4) 本体OFFのときに充電を開始すると液晶画面がつきます。(本体がONの状態でも充電できます)

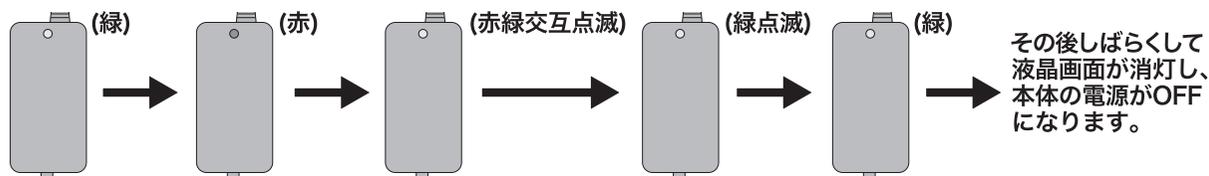


充電が開始すると表示されます。

充電が完了すると液晶画面が100%表示になります。

※図はTK-1000の液晶画面です。

5) 充電を開始すると AC 充電器の LED が緑から赤に変わります。充電が完了すると液晶画面が100%表示になります。



※液晶画面が100%表示の場合でも、AC充電器のLEDが赤に点灯しますが異常ではありません。仕様容量の充電は満たしているので、充電を終了させてください。

**!** 本体の充電完了後は、すみやかに充電器を外してください。満充電の状態でも充電しないでください。  
発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。

※充電が完了して使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、次にDCプラグを本体から抜き、本体の電源をOFFにして保管してください。

## 6. アクセサリーソケット充電器で充電する

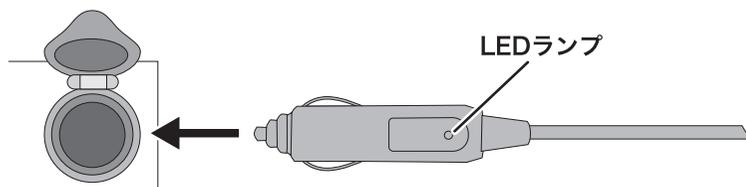
※車の走行中に充電は行わないでください。

※12V車のアクセサリーソケットを使用してください。

### ⚠ 注意

**!** 車内のアクセサリーソケットから充電を行う際は、必ず車を停止させ、落下、転倒しないことを確認したうえで、フロアに設置してください。  
落下して、本体の発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。

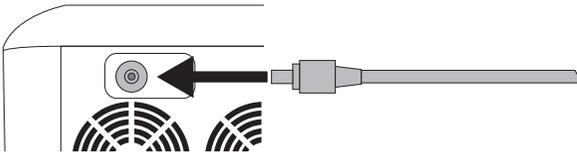
1) アクセサリーソケット充電器の12VDCプラグを車のアクセサリーソケットに差し込む。



車のアクセサリーソケット

※12VDCプラグのLEDランプは通電中、常に赤色に点灯します。

2)DCプラグを本体の充電用入力端子に差し込む。



3)蓄電池、アクセサリースOCKETの充電動作はAC充電器と同じです。



本体の充電完了後は、すみやかに充電器を外してください。満充電の状態では充電しないでください。

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。

※充電が完了して使用しないときは、アクセサリースOCKET充電器の12VDCプラグを車のアクセサリースOCKETから抜き、次にDCプラグを本体から抜き、本体の電源をOFFにして保管してください。

## 7.充電時に電源を取り出す

充電時に電源を取り出すことは可能ですが、本体に接続する電気機器は100W以下になるように接続してください。本体の電池残量が30%以上の状態でご使用ください。電池残量が不足している場合は出力できません。本体へ充電中に電源を取り出すと本体に内蔵されている電池が劣化する恐れがありますのでご注意ください。

※DC(直流)ボタンを押して、アクセサリースOCKETに電気機器を接続しながら、本体を充電しないでください。E-21(DC過負荷)、E-22(DC短絡)が表示されることがあります。表示されたときは、本体から電源アダプタのDCプラグを抜いて、再起動してください。

## 8.交流(AC)電源の取り出しかた

※1 使用方法3(7ページ)の「周波数を設定する」を確認してください。

※2 交流(AC)単独で取り出せる出力。(2つのコンセントの合計)

型番	定格出力	瞬間最大出力
TK-500	300VA	500VA
TK-1000	500VA	1000VA

瞬間最大出力を超える電気機器を接続すると保護回路により、「E-31(AC過負荷保護)」が液晶画面に表示され、電気の取り出しや充電ができなくなります。

【処置方法】

接続している電気機器を取り外し、再起動してください。接続する電気機器の消費電力を確認して定格以内で接続してください。

瞬間最大出力は、瞬間での出力のため定格出力以内でご使用ください。瞬間最大出力で使い続けると電池の消費が極端に早くなったり、本体内の電池の加熱により「E-41(加熱保護)」が表示され電気の取り出しや充電ができなくなります。定格出力以内でご使用ください。

【処置方法】

接続している電気機器を取り外し、本体の電源をOFFにして、風通しのよい場所で本体が冷めてから再起動してください。

※3 モーターなどの大きな起動電力を必要とする電気機器を使用すると開始時に「E-31(AC過負荷保護)」「E-33(AC出力定電圧)」が表示されることがありますが一時的であれば故障ではありません。エラーの表示が継続された場合や蓄電池から出力されない場合は、接続した電気機器を本体から取り外して、接続した電気機器のご使用をお控えください。本体を再起動してください。

## ⚠ 注意



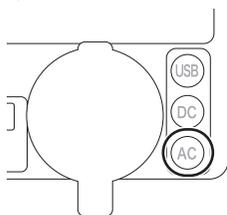
AC、DC、USB、ワイヤレス充電を同時に電気を取り出すときは下記内容に注意してください。

AC、DC、USB、ワイヤレス充電の合計で可能な出力

型番	定格出力	瞬間最大出力
TK-500	300VA	500VA
TK-1000	500VA	1000VA

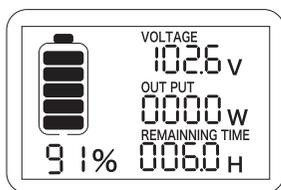
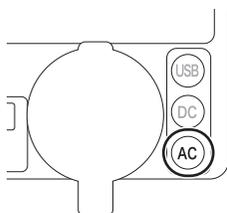
AC、DC、USB、ワイヤレス充電を同時に取り出す場合は各出力の消費電力を考慮して接続してください。

1) ACボタンを押します。



※ACを出力すると本体から「カチカチ」と音がしますが異常ではありません。

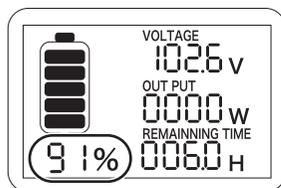
2)電源が入ると液晶画面が表示され「AC」ボタンが点灯します。



※図はTK-1000の液晶画面です。

3)電池残量を確認します。

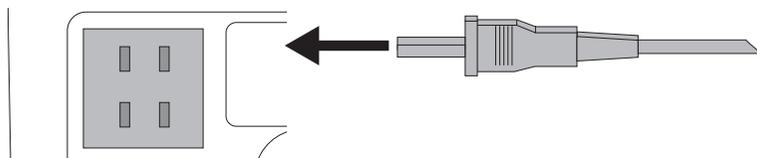
※電池残量が少なくなときは充電してください。



※図はTK-1000の液晶画面です。

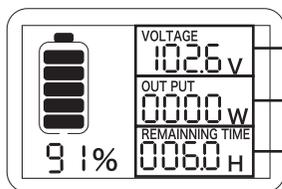
4)接続する電気機器の電源が必ずOFFになっている事を確認し、AC出力へ電気機器の電源プラグを差し込みます。

※接続する電気機器の電源がONになっていると思わぬ事故や感電の原因になります。



5)接続した電気機器の電源をONにする。

6)交流(AC)電源を取り出しているときの表示内容。



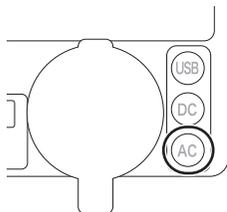
VOLTAGE・・・AC出力電圧(V)を表示します。  
他は000.0V

OUTPUT・・・接続している電気機器の消費電力(W)を表示します。

REMAINNING TIME・・・本体の電池がなくなるまでの残り時間を表示します。

※図はTK-1000の液晶画面です。

7)本体の電源をOFFにするときは「AC」ボタンを押すと「AC」ボタンランプ、液晶画面が消灯し、本体の電源がOFFになります。



## 9.直流(DC)電源の取り出しかた

### 警告



本体のアクセサリースOCKETで12Vバッテリーを充電するときは付属の直流バッテリー充電用コード以外は挿入しないでください。

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



充電するバッテリーの説明書を熟読してください。



12Vバッテリーの充電は風通しの良い場所で行ってください。



12Vバッテリーは引火性のガスを発生させますので取り扱いを誤ると爆発事故やケガの原因になります。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。



12Vバッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な障害を受けることがあります。

応急手当

■万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときはすぐに多量の水で洗い流してください。

■目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。



12Vバッテリーの液面が下限以下のままで使用または充電しないでください。液面が下限以下のままで使用または充電すると12Vバッテリーの劣化を早めたり、破裂(爆発)の原因になる恐れがあります。



カーバッテリーを充電するときは、12Vバッテリーの充電以外には使用しないでください。

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



密閉式バッテリーには専用の充電器が必要です。密閉式バッテリーには接続しないでください。



12Vバッテリー充電中に12Vバッテリーから電気を取り出したり、12Vバッテリー充電中に車のスタータモータを回すなどしないでください。

大電流が流れ、付属の直流バッテリー充電コードや蓄電池本体の故障の原因になります。



直流バッテリー充電用コードを12Vバッテリー端子に接続し、12VDCプラグをアクセサリースOCKETに差し込んでから蓄電池のDCボタンを押してください。



蓄電池のDCボタンを押しDC出力をOFFにしてから12VDCプラグを抜いて、直流バッテリー充電用コードを12Vバッテリー端子から取り外してください。



12Vバッテリーを充電するときは、12Vバッテリーに接続されているコードは全て取り外してから行ってください。外すときはマイナス(-)側から外し、接続はプラス(+)側から行ってください。誤るとショートする場合があります。

※直流(DC)単独で取り出せる電源は、アクセサリースOCKET1口で144VAです。144W以上の消費電力を必要とするバッテリー、電気機器を接続すると「E-23(DC過負荷保護)」が液晶画面に表示され、電気の取り出しや充電ができなくなります。「E-23(DC過負荷保護)」が表示されたときは、接続している電気機器を取り外し、接続する機器の消費電力を確認して144W以内になるものを接続して、再起動してください。

## ⚠ 注意



AC、DC、USB、ワイヤレス充電を同時に電気を取り出すときは下記内容に注意してください。

AC、DC、USB、ワイヤレス充電の合計で可能な出力

型番	定格出力	瞬間最大出力
TK-500	300VA	500VA
TK-1000	500VA	1000VA

AC、DC、USB、ワイヤレス充電を同時に取り出す場合は各出力の消費電力を考慮して接続してください。



DC(直流)ボタンを押して、アクセサリースOCKETに電気機器を接続しながら、本体を充電しないでください。

E-21(DC過負荷)、E-22(DC短絡)が表示されることがあります。

表示されたときは、本体のアクセサリースOCKETから充電ケーブル、電気機器を取り外し、本体から電源アダプタのDCプラグを抜いて、再起動してください。

### 12Vバッテリーへの充電

1)バッテリーに接続されているコードやチューブを外し、バッテリーを取り外します。

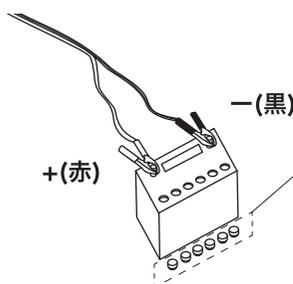
2)バッテリーの栓を外して、液量を点検します。比重計でバッテリー液の比重を測定します。

※充電時間はバッテリーの種類、放電時間によって異なりますので、比重計でバッテリー液の比重をチェックしながら充電してください。バッテリー液の比重が1.26~1.28になれば充電完了です。

3)付属の直流バッテリー充電用コードのクリップを12Vバッテリーに接続します。

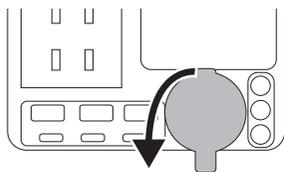
※クリップの赤が+、黒が-です。+と-の極性を間違いなく接続してください。誤って接続するとショートする場合があります、爆発事故やケガの原因となります。

※+側から接続してください。

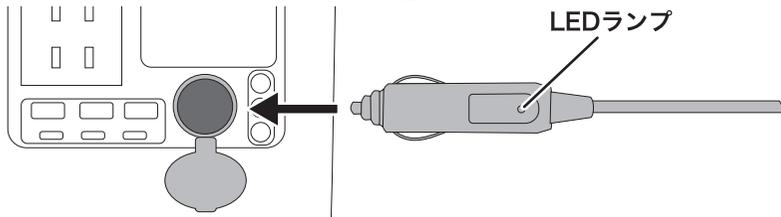


栓は取り外して充電してください。充電時ガスが発生するため栓を取り外さないと破裂する恐れがあります。風通しのよい場所で行ってください。

4)本体のアクセサリースOCKETのフタを外します。

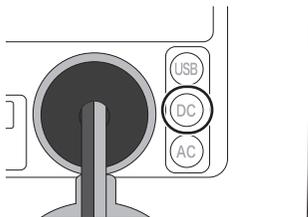


5) 本体のアクセサリソケットに付属の直流バッテリー充電用コードの12VDCプラグを差し込みます。

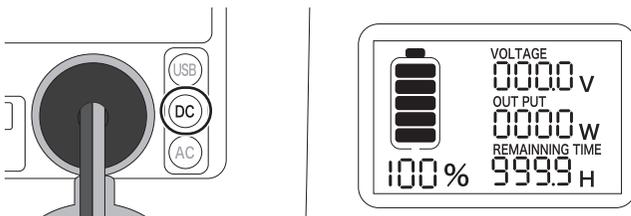


※12VDCプラグのLEDランプは通電中、常に赤色に点灯します。

6) 「DC」 ボタンを押します。

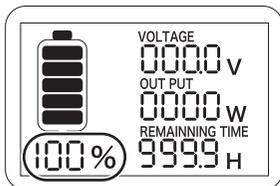


7) 電源が入ると液晶画面が表示され、「DC」 ボタンランプが点灯します。

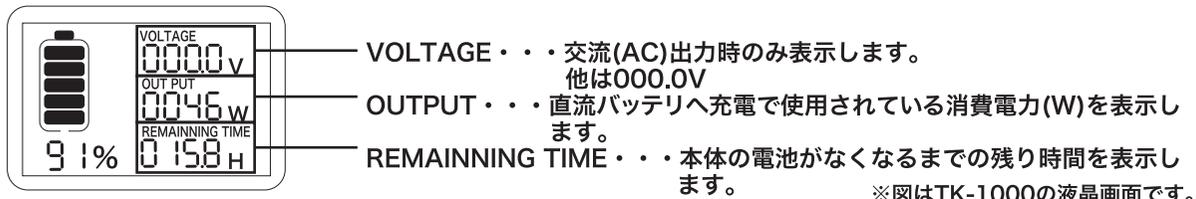


8) 電池残量を確認します。

※電池残量が少なくなときは充電してください。



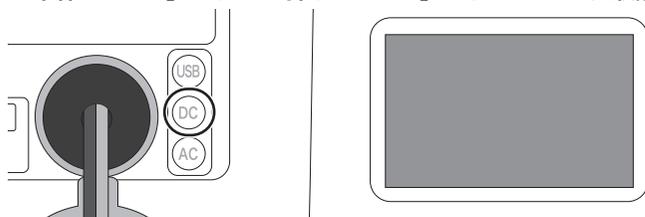
9) 直流(DC)電源を取り出しているときの表示内容。



10)充電が完了したら、本体の電源をOFFにします。

OFFの方法

本体の「DC」ボタンを押すと「DC」ボタンランプ、液晶画面が消灯し、本体の電源がOFFになります。



11)直流バッテリー充電用コードを12Vバッテリー端子から、一側→+側の順で取り外し、本体から12VDCプラグを抜きます。

12)本体のアクセサリースOCKETのフタを閉じます。

### 直流(DC)電気機器の接続

## ⚠ 注意



直流(DC)電気機器を接続する場合は、必ず接続する電気機器の電源がOFFになっていることを確認してください。

接続する電気機器の電源がONになっていると思わぬ事故や感電の原因になります。



蓄電池のアクセサリースOCKETと直流(DC)電気機器の12VDCプラグが合わない場合があります。プラグが奥まで差し込めない場合は使用しないでください。

ショートや故障の原因になります。



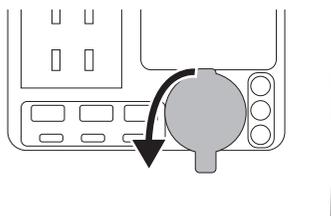
蓄電池のアクセサリースOCKETは、自動車用のアクセサリースOCKETと同じ形状ですが、自動車用の直流(DC)電気機器が必ず使用できるわけではありません。接続した機器によっては動作に支障が出る場合があります。動作の可否が不明な場合は使用しないでください。



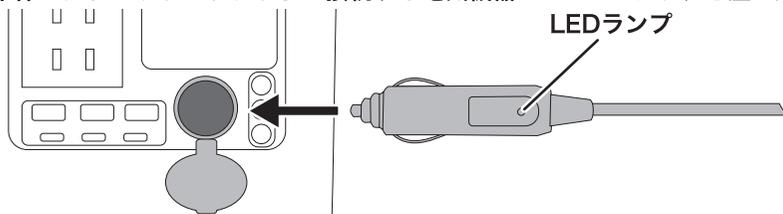
DC(直流)ボタンを押して、アクセサリースOCKETに機器を接続しながら、本体を充電しないでください。E-21(DC過負荷)、E-22(DC短絡)が表示されることがあります。表示されたときは、本体のアクセサリースOCKETから充電ケーブル、電気機器を取り外し、本体から電源アダプタのDCプラグを抜いて、再起動してください。

1)電気機器にスイッチがあるものは、電気機器の電源がOFFになっていることを確認します。

2)本体のアクセサリースOCKETのフタを外します。

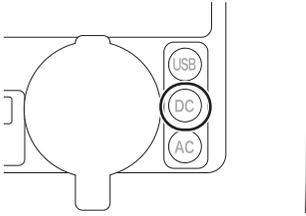


3)本体のアクセサリースOCKETに接続する電気機器の12VDCプラグを差し込みます。



※12VDCプラグのLEDランプは通電中、常に赤色に点灯します。

4) 「DC」 ボタンを押します。



5) 表示内容、電池残量を確認してください。

※電池残量が少ないときは充電してください。

6) 接続した電気機器の電源をONにする。

7) 本体の電源をOFFにするときは「DC」ボタンを押してください。「DC」ランプ、液晶画面が消えていることを確認してください。

## 10.USB、ワイヤレス充電の電源の取り出しかた

※USB6口とワイヤレス充電は、同時に使用することができます。

※USBは各端子の定格に従って使用してください。

### ⚠ 注意



AC、DC、USB、ワイヤレス充電を同時に電気を取り出すときは下記内容に注意してください。

AC、DC、USB、ワイヤレス充電の合計で可能な出力

型番	定格出力	瞬間最大出力
TK-500	300VA	500VA
TK-1000	500VA	1000VA

AC、DC、USB、ワイヤレス充電を同時に取り出す場合は各出力の消費電力を考慮して接続してください。

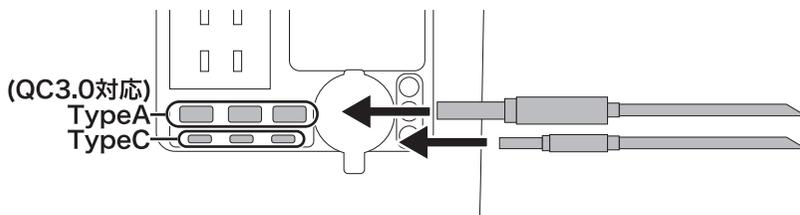


ワイヤレス対応機種以外は使用できません。

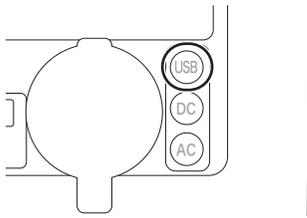
Quick Charge™ 3.0は、従来の機器との互換性を保ちながら、対応した機器、ケーブルの場合には高速な充電を可能とするので、充電時間を短縮することができます。

1) 安全にご使用いただくために接続する電気機器の電源を一度OFFにしてください。

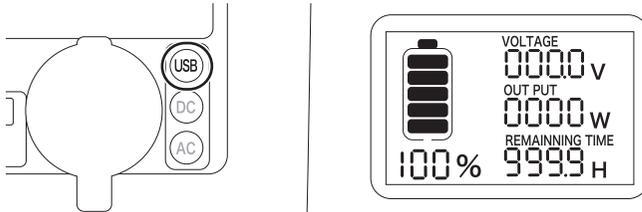
2) 使用する電気機器のUSBプラグを本体のUSB出力端子に差し込みます。



### 3 「USB」 ボタンを押します。

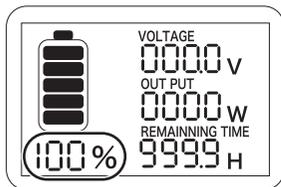


4)電源が入ると液晶画面が表示され、「USB」ボタンランプが点灯します。接続状態を確認してから電気機器の電源をONにして、充電を開始してください。

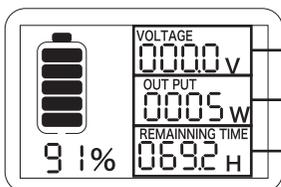


### 5)電池残量を確認します。

※電池残量が少なくなときは充電してください。



### 6)USB電源を取り出しているときの表示内容。



VOLTAGE・・・交流(AC)出力時のみ表示します。  
他は000.0V

OUTPUT・・・接続している電気機器の消費電力(W)を表示します。

REMAINNING TIME・・・本体の電池がなくなるまでの残り時間を表示します。

※時間が変動しますが異常ではありません。

※図はTK-1000の液晶画面です。

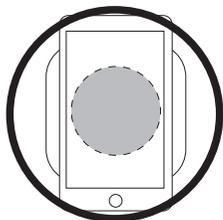
7)ワイヤレス充電の場合は、対応機器を本体上のワイヤレス充電部に置いて充電してください。

## 警告



ワイヤレス充電部の上にワイヤレス対応機器以外のものを置かないでください。また、ワイヤレス充電部とワイヤレス対応機器の間に異物(特に金属)を挟んだ状態で使用しないでください。

発熱、発火や火災、破裂、感電、ケガの原因になります。



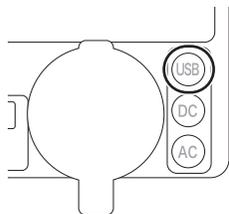
ワイヤレス対応機器を充電エリアの中心に正しく置いてください。



ワイヤレス対応機器が充電エリアの中心からずれていると充電が停止します。

8)USB、ワイヤレス充電は、接続機器の充電が完了したら本体から取り外してください。

9)本体の電源をOFFにするときは「USB」ボタンを押すと「USB」ランプ、液晶画面が消灯し、本体の電源がOFFになります。

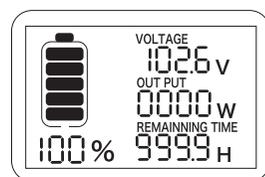
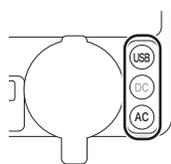
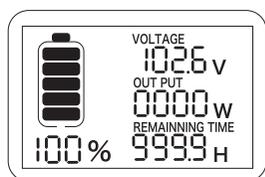
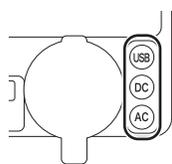


## 11.交流(AC)、直流(DC)、USB電源を同時に取り出す

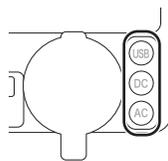
「AC」「DC」「USB」全てのボタンを押します。

使用しない電源は、使用しない電源のボタンを押すとボタンランプが消灯し、取り消しできます。

ボタンランプの点灯しているものが出力されます。OUTPUT(出力)は各出力の合計した消費電力(W)が表示されます。ボタンランプが全て消えたとき、液晶画面が消灯し、本体の電源はOFFになります。



「DC」を取り消した場合



# 接続する電気機器の使用時間目安

電気機器	消費電力 バッテリー容量	使用可能時間・回数	
		TK-500	TK-1000
卓上ライト	12W	約 24 時間	約 48 時間
ラジオ	12W	約 24 時間	約 48 時間
扇風機	18W	約 16 時間	約 32 時間
石油ファンヒーター	27W	約10時間30分	約 21 時間
電気毛布	55W	約 5 時間	約 10 時間
液晶テレビ	69W	約 4 時間	約 8 時間

電気機器	消費電力 バッテリー容量	使用可能時間・回数	
		TK-500	TK-1000
白熱電球	100W	約2時間30分	約 5 時間
小型炊飯器	300W	約 3 回	約 6 回
洗濯機	500W	—	約 4 回
スマートフォン	2700mAh	約 30 回満充電	約 60 回満充電
ノートパソコン	22600mAh	約 3 回満充電	約 6 回満充電

※使用環境や、バッテリーの劣化具合により、充電回数、使用可能時間は変動します。  
 ※消費電力、使用可能時間は参考値です。

## 廃棄のしかた

- 本製品は充電式リチウムイオン電池を内蔵しており、一般家庭の廃棄物とともに処分できません。
- これらは危険な物質であり、特定の輸送および取り扱い規制の対象となります。
- リチウムイオン電池は、誤って取り扱うと発火することがあります。
- 本製品を開けたり分解したりせず、「充電式電池リサイクル協力店」に加入の電気店に設置されたリサイクルボックスに入れるか、または自治体の指示に従って処分していただきリサイクルにご協力ください。



# 故障かな？と思ったら

症状	原因	処置方法
・充電できない	・接続不良	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグ、12VDCプラグ、DCプラグが確実に差し込まれていることを確認してください。DCプラグ部、または本体の充電用入力端子に水や異物が付着している場合は除去してください。ACコードが充電器本体から抜けている場合があります。ご確認ください。</li> </ul>
	・低温保護機能が作動し、動作を停止しています。(E-48が表示されます)	<ul style="list-style-type: none"> <li>0℃以下55℃以上になると出力を停止します。使用環境(0℃~40℃)を確認してください。</li> </ul>
	・加熱保護機能が作動し、動作を停止しています。(E-41が表示されます)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の熱でE-41が表示されることがあります。電源をOFFにして本体が冷めてから電源をONにしてください。</li> <li>本体の電源をOFFにして、本体を常温(5℃~35℃)に戻して、再度電源をONにしてください。復帰までの時間は条件によって異なります。</li> </ul>
・「AC」「DC」「USB」ボタンを押しても電源が入らない	・バッテリーのトラブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の充電を中止してください。出力しないまたは、出力してもエラー表示が消えない場合は使用を中止して、お買い求めの販売店または、当社にご相談ください。</li> </ul>
	・E-43(バッテリー低電量)が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池残量が5%以下のため本体を充電してください。</li> </ul>
	・バッテリー残量低下または、故障	<ul style="list-style-type: none"> <li>充電してからONにしてください。</li> <li>充電しても改善しないときは、お買い求めの販売店または、当社へご相談ください。</li> </ul>
・AC出力しない	・「AC」ボタンが押されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「AC」ボタンを押し、ACボタンランプが点灯しているか確認してください。</li> </ul>
	・接続不良	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続した電気機器の電源プラグが本体コンセントに確実に挿入されているか確認してください。</li> <li>接続した電気機器の電源がONになっているか確認してください。</li> </ul>
	・低温保護機能が作動し、動作を停止しています。(E-49が表示されます) ※DC、USB、無接点充電も同様	<ul style="list-style-type: none"> <li>-10℃以下55℃以上になると出力を停止します。使用環境(0℃~40℃)を確認してください。</li> </ul>
	・加熱保護機能が作動し、動作を停止しています。(E-41が表示されます) ※DC、USB、無接点充電も同様	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の熱でE-41が表示されることがあります。電源をOFFにして本体が冷めてから電源をONにしてください。</li> <li>本体の電源をOFFにして、本体を常温(5℃~35℃)に戻して、再度電源をONにしてください。復帰までの時間は条件によって異なります。</li> </ul>

症状	原因	処置方法						
<ul style="list-style-type: none"> <li>AC出力しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AC過負荷保護機能が作動し、出力、充電機能を停止します。(E-31が表示されます。) E-33(出力75V以下)、E-34(AC出力停止)が表示される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の電源をOFFにして、接続機器を取り外し再起動してください。使用電力が最大出力を超えていないか確認してください。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>型番</th> <th>瞬間最大出力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TK-500</td> <td>500VA</td> </tr> <tr> <td>TK-1000</td> <td>1000VA</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>改善しないときは、お買い求めの販売店または、当社へご相談ください。</li> </ul>	型番	瞬間最大出力	TK-500	500VA	TK-1000	1000VA
型番	瞬間最大出力							
TK-500	500VA							
TK-1000	1000VA							
<ul style="list-style-type: none"> <li>DC出力しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「DC」ボタンが押されていない。</li> <li>接続不良</li> <li>E-21(DC過負荷)、E-22(DC短絡)が表示される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「DC」ボタンを押し、DCボタンランプが点灯しているか確認してください。</li> <li>直流バッテリー充電用コードの12VDCプラグが本体アクセサリソケットに確実に挿入されているか確認してください。</li> <li>直流バッテリー充電コードの+(赤)、-(黒)と12Vバッテリーの+、-の極性が間違っていないか確認してください。</li> <li>12Vバッテリーである事を確認してください。</li> <li>直流(DC)電気機器が144W以下であることを確認してください。</li> <li>直流(DC)出力時には、本体を充電しながら出力しないでください。</li> <li>本体のアクセサリソケットから充電ケーブル、電気機器を取り外し、電源アダプタのDCプラグを抜いて、再起動してください。</li> <li>改善しないときは、お買い求めの販売店または、当社へご相談ください。</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>USB出力しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続している電気機器が満充電</li> <li>「USB」ボタンが押されていない。</li> <li>E-11(USB過負荷)、E-12(USB短絡)、E-13(USB出力停止)が表示される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続している電気機器の電池残量を確認してください。</li> <li>「USB」ボタンを押し、USBボタンランプが点灯しているか確認してください。</li> <li>接続する電気機器の定格を確認して、本体の定格より過負荷になっていないか確認してください。</li> <li>接続している電気機器を取り外し、再起動してください。</li> <li>改善しないときは、お買い求めの販売店または、当社へご相談ください。</li> </ul>						

症状	原因	処置方法
・ワイヤレスが出力しない	・「USB」ボタンが押されていない。	・「USB」ボタンを押し、USBボタンランプが点灯しているか確認してください。
	・ワイヤレス対応機器であるか確認してください。	・ワイヤレス対応機器以外は使用できません。
	・本体充電エリア中央から電気機器がずれている。	・本体充電エリアに電気機器をそろえてください。
・充電し液晶表示が100%となっても液晶画面が消えず、ACアダプタのLEDが赤から緑にならない。	・内部の電池セルの容量差で、液晶表示が100%となっても充電を行っている場合が有ります。	・仕様容量の充電は満たしているので、充電を終了させてください。

上記のことを点検しても変わらない場合には、お買い求めの販売店、または当社までお問い合わせください。



## ポータブル蓄電池

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。修理ご依頼品の送料、ご持参される場合の諸経費はお客様のご負担となります。

型名	TK-500/TK-1000		販売店印、お買い上げ日 または、レシート貼付
※お客様	お名前	☎	
	ご住所	〒	
※お買い上げ日 年 月 日	※販売店名・住所		
保証期間 お買い上げ日より <b>2年</b>	☎		

※印欄にご記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、当社にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
  - (イ)使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
  - (ロ)お買い上げ後の輸送・移動による落下などによる故障および損傷。
  - (ハ)火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異・公害・塩害・虫害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。
  - (ニ)極端な連続使用、過負荷での使用、酷使による不具合。
  - (ホ)本書のご提示がない場合。
  - (ヘ)本書にお客様名・「販売店印およびお買い上げ日」または、「販売証明書やレシート」が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。(通信販売の場合は購入日付入りの購入明細を印刷して添付)
  - (ト)使用後におけるケーブル類の破損、内部バッテリーの劣化は保証の対象外となります。
  - (チ)本製品に接続した当社付属品以外の使用機器、電気機器の故障や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
  - (リ)本製品に接続した電気機器に登録されたメモリの消失、ICカードのデータやチャージマネーの保全、サービスの回復に関し、当社は一切の責任を負いかねます。
  - (ヌ)時の経過による変化で発生した不具合。(外観部品の退色、使用による傷など)
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので大切に保管してください。

- お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を保証している者(補償責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。  
お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

発売元：株式会社パオック  
〒955-0061  
新潟県三条市林町2-5-21  
TEL 0256-33-5574